

## 面 生 新

大阪の「水俣病を  
治癒する会」が、チ  
ツソの製品を買わな  
いという、中国  
政府に手紙を送ると  
いう、第三者による  
水俣病闘争は、裁判  
支援、で、「栄養主

運動」から、その、経済封鎖、  
にまで広がってきた感じである▼  
チツソは現在、中国をめぐり、確  
安、尿素など化学肥料の輸出を行  
なっている。年間の輸出高が、そ  
れがチツソ全体でどれだけの地位  
を占めているのか、詳しいことは  
知らないが、もし中国向け輸出が  
だめという事になれば、かなり  
の経済的打撃は避けられまい▼大  
阪の告発する会は「水俣病の企業  
責任をめぐるところか、弱い立場に  
ある患者を追い詰め、また患者を  
支援する会を押しつぶすとする  
など、チツソのやり方は資本主義  
の残忍さの典型だ」という。そし  
て「チツソがつぶれるまでたたか  
う」とまで叫ぶ▼公害は「へん、  
患者への補償も十分とはいえま  
い。企業の公害責任はあくまで追  
及されねばならぬが、しかし、戦  
術が製品の不買要請や企業をつぶ  
すことにエスカレートしてはな  
らぬ、第三者の支援闘争としては少  
なすぎた場合、今後の長期にわ  
たる患者補償はたれがやるのか。  
企業に働く多くの従業員は職を失  
うことになるし、企業がつながら  
ない限り、地域住民の生活も問題である。か  
つての、公害企業、だからどうし  
て、これをたたきつぶすことには  
賛成しかねる▼四面を敵の中で、  
チツソは水俣と企業の再建にねば  
り強く合理化を進めている。それ  
がかえって周囲からは、無反省、  
と受け取られ、告発する会の人た  
ちは、残忍さの典型、と映るの  
かもしれない。しかし企業の社会  
的責任というものは、つぶせば終  
わり、どうしようもない簡単なもの  
はなからう▼公害闘争の目的は、  
被害者の救済と公害の軽減であ  
り、企業を潰すことにはあつたま  
い。過去の公害に対してチツソには  
生き続けながら果たしてもらわね  
ばならぬ責任がある。反省、の  
誠意も積極的な責任の取り方いか  
んにかかっているわけだ▼責任を  
取つてやめる—そんな消極的責任  
の取り方を是認する温情は、公害  
企業には禁物である。悪道を通た  
れた人間に積極的責任が果たせる  
かどうか。その意味からも、経済  
封鎖、的戦術は地元の感情に反す  
ると言いたい。